

米 山 (柏崎市)

■ 環 境：山地
 ■ 対 象：健脚
 ■ 期 間：5月上旬
 6月上旬

米山(993m)といえば民謡三階節で広く知られている。登山目的の人には、短時間で登ることのできる柏崎市大平口と、柿崎町の米山寺口が人気だが、探鳥だけが目的なら直接車で谷根、米山湖に行つてのんびりカワガラス、オンドリを見よう。

<初夏の大平口から頂上～谷根口へ>

JR米山駅から徒歩60分。ウグイスの鳴く緩い登り坂を行くと大平地区に着く。途中ミサゴが上空を飛ぶところが見られるかもしれない。電線でズスメやツバメが戯れ、サンショウクイやキビタキの声が気持ち良い。

民家のわきの細い近道を左に曲がり、約10分で登山道入り口に着く。ここからが本格的な登山道だ。

広葉樹の林の中をヤブサメ、センダイムシクイ、ホトトギスの声を聞きながら登る。道は次第に急こう配となり、汗が噴き出て探鳥どころではなくなっ

てくる。途中、平らで展望のきく休憩所がロマンスヒルである。この先は、その年の残雪によって急斜面をトラバースするか、尾根を通るかして巨木のブナ林に入る。木の根が階段状になっていて、登りもきつい、目にしみる若葉とヒガラ、ツツドリ、コゲラ、アカゲラのドラミングで心が和む。

ブナ林を過ぎ、低木に変わると間もなく頂上である。登山口から2時間半、山頂に立つ。佐渡、弥彦、越後三山、妙高、北アルプスの大パノラマが展開する。休憩に入る前に日本三大薬師の一つ、米山薬師をお参りしよう。

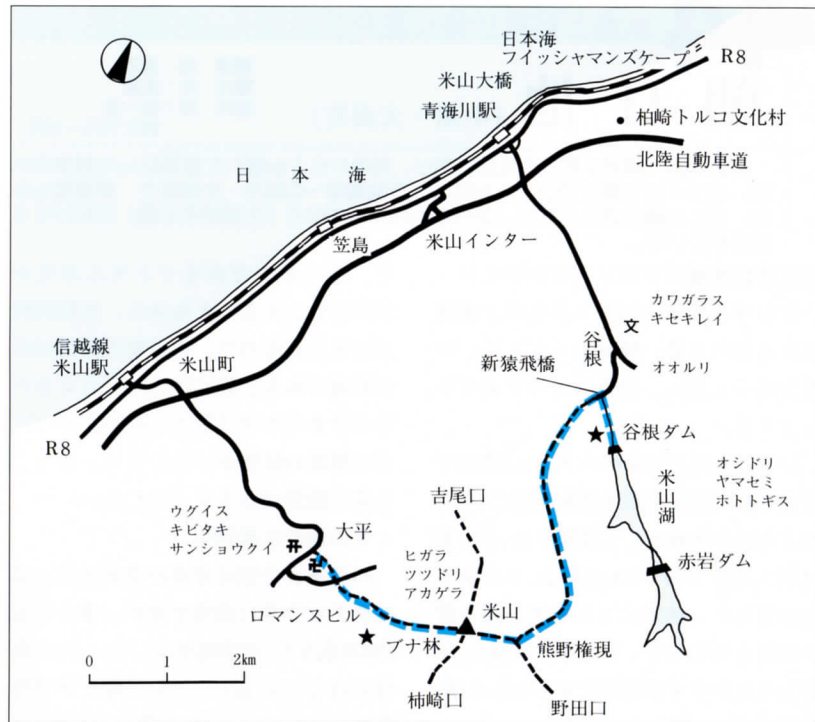
下山は谷根のコースをとる。道が急なため要注意。熊野権現(女人堂)で道は野田コースに別れ、白蛇の池、谷根新道を経て新猿飛橋、谷根コースの登山道入り口に出る。頂上から約2時間半である。舗装された道を15分下ると谷根のバス停に着く。バスは柏崎まで行く。

<オンドリの米山湖>

米山湖に向かう途中、谷根地区では集落の中央に流れる川を観察しよう。



冬の米山



カワガラスが活発に動いている。新猿飛橋付近ではオオルリが鳴いている。米山湖の駐車場に車を置いたら、湖畔をゆっくり赤岩ダムまで歩き探鳥すると、オンドリやヤマセミに会うことがある。見上げた山のりょう線にイヌワシが飛ぶこともある。

谷根地区にはかつてキセキレイをオマンシリフリと呼ぶ方言があり、これにまつわる「お万測」の民話が残っている。

(小林成光)

メモ

交通 JR米山駅。米山湖へは青海川駅下車、バスで谷根へ。

登山の問い合わせ：柏崎市役所 ☎0257-23-5111

米山湖の問い合わせ：米山湖管理事務所 ☎0257-26-251

☐ 米山湖に駐車場、トイレ有り。

道草 米山湖からの帰りは、フィッシャーマンズケープ、柏崎コレクションビレッジ、柏崎トルコ文化村など観光スポット多数あり。